

主要行等の令和3年3月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

○ 令和3年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う与信関係費用の増加があったものの、一部大手銀行グループにおいて前期に計上した特別損失が剥落したことなどにより、当期純利益は前期に比べ+1.5%の増加。

（単位：億円）

	H31年3月期	R2年3月期	R3年3月期	前年比
連結業務粗利益	100,209	105,022	106,412	1,390
資金利益	47,718	46,743	49,618	2,875
役務取引等利益	34,982	35,521	36,036	514
その他業務利益	6,893	10,064	8,254	▲1,810
うち債券等関係損益*	▲588	7,448	1,887	▲5,561
経費	▲68,356	▲69,708	▲69,509	199
連結業務純益	32,915	35,952	37,638	1,686
コア業務純益*		13,534	19,947	6,413
コア業務純益*(除く投資信託解約損益)		13,229	19,692	6,464
与信関係費用**	▲1,702	▲6,830	▲11,789	▲4,960
株式等関係損益	5,404	3,046	2,407	▲639
親会社株主に帰属する当期純利益	21,334	20,697	21,016	319

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)	H31年3月期	R2年3月期	R3年3月期
貸出金（末残）***	305.2兆円	314.7兆円	319.1兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 不良債権額は令和2年3月期に比べ増加、不良債権比率は上昇。

	H31年3月期	R2年3月期	R3年3月期
不良債権額	2.0兆円	2.1兆円	2.6兆円
不良債権比率	0.58%	0.59%	0.75%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

○ 国際統一基準行の総自己資本比率は令和2年3月期に比べ低下、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は上昇。

○ 国内基準行の自己資本比率は、令和2年3月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R2年3月期	R3年3月期
総自己資本比率	17.00%	16.98%
Tier1比率	14.60%	14.78%
普通株式等Tier1比率	12.77%	13.05%

	R2年3月期	R3年3月期
自己資本比率	11.04%	11.43%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。